

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	939.00	2024/7/29
High	980.76	2024/8/1
Low	936.00	2024/7/29
Close	957.86	2024/8/2

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	4655.00	2024/7/29
High	4785.00	2024/7/30
Low	4497.00	2024/8/2
Close	4512.00	2024/8/2

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	903.00	2024/7/29
High	936.00	2024/7/31
Low	882.67	2024/7/30
Close	889.80	2024/8/2

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	4467.00	2024/7/29
High	4566.00	2024/7/29
Low	4177.00	2024/8/2
Close	4192.00	2024/8/2

ニュースエクスプレス

電力供給の安定、プラチナ市場の供給不足を和らげる助けに

アングロ・アメリカン・プラチナム (AAP) は8月1日、第1四半期の精錬プラチナ生産高が前年比で13%増えて17.2トンになったと発表した。自社の生産高は前年比で2%減っているため、在庫の処理が進んで増えたと見られる。南アフリカでは度重なる計画停電で原料の加工が滞り、2023年末の時点で、6.2トン以上の未精錬プラチナ在庫があった。電力状況は今年に入って大きく改善しており、2週間前には計画停電のない期間が100日間に達した。在庫の加工が進んだことで市場に出回るプラチナが増えることになり、AAPは2024年のPGM鉱石と精錬製品(5E-プラチナ、ゴールド、ロジウム、イリジウム、ルテニウム)の生産目標、102.6トンから115.1トンを維持できるだろう。

[https://www.heraeus.com/media/media/hpm/doc\\_hpm/precious\\_metal\\_update/en\\_6/Appraisal\\_20240722.pdf#msdyntrid=70QIIUeSbJ57Bq69l1aKOr5WtAGFryvQau3F601YzME](https://www.heraeus.com/media/media/hpm/doc_hpm/precious_metal_update/en_6/Appraisal_20240722.pdf#msdyntrid=70QIIUeSbJ57Bq69l1aKOr5WtAGFryvQau3F601YzME)

PGMは環境改善に有益と、アングロ・アメリカン・グループ離脱のアングロ・プラチナム

アングロ・アメリカン・プラチナムは、アングロ・アメリカン・グループからの離脱過程にあるが、CEO、Craig Miller氏は、半年決算発表の場において、PGMは現在、価格上昇サイクルに乗っていないが、世界をよりクリーンでグリーンな環境に変えるための土台作りには欠かせないメタルであると語る。

今年上半期の重要な進歩として、プラチナ・ギルド・インターナショナルがAIとデジタル技術を駆使して独自に開発した、宝飾品用のプラチナ合金Inoveoプラチナがある。Mining Weeklyによると、半年決算発表の中でこの合金に対しては年間9.3トン以上の需要を見込んでいとされた。米国でInoveoの評判が非常に好調だったため、インドを手始めに世界市場に商品を広げる。

アングロ・プラチナムは燃料電池自動車の分野でも、パリオリンピックのオフィシャルパートナーであるHypeと協力してグリーン水素を使うタクシーを欧州市場に投入する。独ハンブルグ市への導入も近い。もしも10台に1台の自動車が燃料電池自動車になれば、年間186.6トンにも上るプラチナ需要が見込める。

<https://www.miningweekly.com/article/pgms-helping-to-lay-greener-global-foundation-divesting-anglo-platinum-highlights-2024-07-22>

米エネルギー省、総額5200万ドルの中小企業の研究開発援助発表、水素と燃料電池プロジェクト340万ドルも含む

米エネルギー省 (DOE) は先週、2024年度の中小企業技術革新研究プログラム (SBIR) と中小企業技術移転プログラム (STTR) に関して第一フェーズの対象社を発表した。SBIRプログラムは全米から選ばれた200以上の中小企業に5200万ドル以上をクリーンな燃料プロジェクトの研究開発に援助する。

この中にはDOE内の水素燃料電池技術局 (HFTO) が選んだクリーンな水素と燃料電池利用の研究開発を進める17のプロジェクトが含まれ、援助総額は340万ドルと見られる。

<https://hydrogen-central.com/us-doe-announces-52m-for-small-business-research-and-development-grants-including-34m-for-hydrogen-and-fuel-cell-projects/>

米国の車の平均使用年数の伸びで、プラチナのリサイクル供給苦境に

自動車触媒のリサイクル市場から供給されるプラチナは、南アでのシバニエ・スティールウォーターの生産高に匹敵し、2009年以来、31.1トンを超えず、2023年は廃車体の減少で自動車触媒のリサイクルも減った。中古車市場は品薄が続いているが、いくらか上向いているようだ。世界最大の中古車再販業者 Manheim の中古車価格指標は2022年1月から23%下落している。しかし消費者は依然新車購入には慎重で、特に米国では今年、車の平均使用年数が過去最長の14年に伸びた (出典: S&P グローバル)。プラチナの価格低迷によってPGMリサイクルのサプライチェーン内の様々な分野でプラチナを備蓄し始める可能性があり、それがさらにリサイクル市場に流れるプラチナの減少につながる。

世界的に自動車触媒のリサイクルが低迷した2023年を経て、2024年は多少回復すると見られる。2024年第1四半期、北米のシバニエ・スティールウォーターの処理工場に送られる自動車触媒の量は前年比で2.4%増えたが、前期比ではマイナス1.1%で2.4トン(3E)だった。同社の2024年のPGMリサイクル生産目標9.3トンから10.9トン(3E)を考えると、今年残りの供給量は安定するだろう。世界のリサイクル供給が上向けば、現在、13.2トンの供給不足と予測されている2024年のプラチナ市場はもっと均衡に向かうだろう。

[https://www.heraeus.com/media/media/hpm/doc\\_hpm/precious\\_metal\\_update/en\\_6/Appraisal\\_20240729.pdf#msdyntrid=zKx4kM0DXesfw-JiLo-TZvqNzzyKkslGL8TJL23SqA](https://www.heraeus.com/media/media/hpm/doc_hpm/precious_metal_update/en_6/Appraisal_20240729.pdf#msdyntrid=zKx4kM0DXesfw-JiLo-TZvqNzzyKkslGL8TJL23SqA)

Translated by Kazuko OSAWA

WPIC直近の活動

ロイヤルミントとパースミントは新たにプラチナ地金コイン(99.95%の純プラチナ製)をコインコレクションに加えた。詳しくは[プラチナ豆知識ープラチナ新コイン](https://platinuminvestment.com/about/60-seconds-in-platinum)をご覧ください。

<https://platinuminvestment.com/about/60-seconds-in-platinum>

WPICの最近の研究によると、世界の水電解能力は、2023年はわずか6GWだが、2030年までに212GWに成長が見込まれる。北米の水電解装置市場の成長を見ても、水電解装置の注目度が高まっていることが明らかだ。詳しくは[プラチナ豆知識ーPEM USA](https://platinuminvestment.com/files/sixtysecs/jp/WPIC_60SIP_PEM_USA_07_24_2024_JA.pdf)をご覧ください。

[https://platinuminvestment.com/files/sixtysecs/jp/WPIC\\_60SIP\\_PEM\\_USA\\_07\\_24\\_2024\\_JA.pdf](https://platinuminvestment.com/files/sixtysecs/jp/WPIC_60SIP_PEM_USA_07_24_2024_JA.pdf)

今回お届けするWPIC共催の上海プラチナウィーク (SPW) のイベント報告レポートは、開催の概要データ、メディア報道、参加企業のリスト等を取りまとめたものであり、来年のご参加をご検討される際のご参考になれば幸いです。詳しくは添付の[SPW2024 イベントレポート](#)をご覧ください。



@wpicjapan